

報道関係者各位

2025 年 10 月 1 日

オープン株式会社

オープンが「地方自治情報化推進フェア 2025」に出展 自治体 DX を革新する業務プロセス最適化をテーマにしたセミナーも開催 ー10/8（水）・9（木）に幕張メッセ 9～11 ホールで開催ー

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、2025 年 10 月 8 日（水）・9 日（木）に開催される「地方自治情報化推進フェア 2025」に出展いたします。

また 10 月 8 日（水）には「業務プロセス最適化」とそれに伴う各種ツール活用をテーマにしたセミナー登壇も行います。



「地方自治情報化推進フェア 2025」は地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、“デジタルで変わる、未来が分かる ～自治体 DX の「次」を共に描く～”をテーマにした展示会です。地方公共団体の情報化推進を支援するためのシステム／ツールやサービスの展示、講演・パネルディスカッション・セミナーの実施を通じて、今後のデジタル・ガバメントの実現やマイナンバーカード利活用の推進等に寄与することを目的に開催されます。

オープンのブースでは、自治体 DX を加速するための各種ツールを展示します。

具体的には導入社数 3,100 社以上／継続率 99.3% の RPA「BizRobo!」、「クラウド型 AI ワーカー」として、事務系を中心とした定型業務自動化、データ連携等で活用できる RPA「AUTORO」に加えて、LGWAN 環境での利用が可能な RPA「BizRobo! mini（ガバメントライセンス）」や AI-OCR 製品「BizRobo! OCR（ガバメント）」、自治体環境に特化した DX の理解と実践を支援する「DX 体感パック」、PDF・紙・写真をアップロードするだけでデータの Excel 化と資料作成を実現する生成 AI サービス「AI パンチャー」を紹介します。

自治体業務に特化したスタッフが直接対応し、直面する課題を最短・最適な方法で解決するために適切な RPA の活用、また今後起こり得る AI との連携方法を、導入・運用時の伴走支援とあわせて提案します。

さらに 10 月 8 日（水）10:15 から、ベンダープレゼンテーション会場 C にて、自治体 DX 実現に向けた業務プロセス最適化をテーマにしたセミナーも開催いたします。

■ 出展概要

- ・ 展示会名称：地方自治情報化推進フェア 2025
- ・ 会 期：2025 年 10 月 8 日（水）9:30～17:30
2025 年 10 月 9 日（木）9:30～17:00
- ・ 会 場：幕張メッセ 展示ホール 9・10・11
- ・ 主 催：地方公共団体情報システム機構
- ・ 開 催 概 要：<https://fair.j-lis.go.jp/>



▼オープンの展示ブースについて

小間番号：015

▼ベンダープレゼンテーションについて

- ・ タイトル：業務プロセスの“個別最適”から“全体最適”への進化
- ・ 開催日時：2025 年 10 月 8 日（水）10:15 ～ 11:00 【C-1】
- ・ 会 場：ベンダープレゼンテーション会場 C
- ・ 登 壇 者：オープン株式会社 Automation 事業部 営業本部 第一事業推進部 中村 幸洋
- ・ 概 要：RPA 活用から始まり、AI 活用も現実的になる中で、業務自動化・効率化も日々進化しています。また、フロントヤード改革や基幹業務の標準化の進んでいる現地点から、自治体 DX の「次」の進化の方向性として、『業務プロセスの全体最適』は重要なテーマとなります。本講演では、“業務プロセスの全体最適に向けて”にテーマを絞り、関連ソリューション等の紹介を行います。
- ・ 申し込み：<https://jlis2025.event-lab.jp/v4/seminar/program/detail/764cc8010b2560d37a1416aaa236fb6f/JLISFAIR>
※参加申し込みにあたっては「来場者登録」が必要です。

■ 「BizRobo!」について



「BizRobo!」は、ホワイトカラーの生産性を革新する、ソフトウェアロボットの導入・運用を支援するデジタルレイバープラットフォームです。「ロボット」と「IT」によって、ホワイトカラーをルーティンワークから解放し、企業を始め社会全体の生産性向上を図り、未来の働き方を変えていきます。

詳細につきましては製品ページ：<https://rpa-technologies.com/products/> をご覧ください。

ー 主要製品ラインナップー

- ・ BizRobo! Basic : <https://rpa-technologies.com/bizrobobasic/>
- ・ BizRobo! Lite : <https://rpa-technologies.com/lite/>
- ・ BizRobo! mini : <https://rpa-technologies.com/bizrobomini/>

■ 「AUTORO」について



「AUTORO」はクラウドで提供される RPA ソフトウェアとして、インフラの運用や保守の手間を軽減したい／Web 上やクラウド業務を中心に自動化を進めたい／リモートワークや外出先から場所を問わずインターネット経由で RPA を利用したいといったニーズに応える製品です。

また API 連携に対応しているため、iPaaS（Integration Platform as a Service）としても活用できる柔軟性が評価されています。

詳細につきましては製品ページ：<https://autoro.io/>をご覧ください。

■ 「BizRobo! AI Apps※」について

「BizRobo! AI Apps」は生成 AI の活用によって、これまでより簡単に RPA ロボットの運用・管理を行える BizRobo! のオプションサービスです。チャット指示やテンプレートをベースにロボットを生成し、業務フローの可視化や一元管理等の運用支援に必要な機能を搭載。業務自動化を加速します。

詳細につきましてはサービスページ：<https://rpa-technologies.com/ai-apps/> をご覧ください。

※BizRobo! AI Apps のローンは 2025 年秋予定

■ 「AI パンチャー」について



「AI パンチャー」は、PDF・紙・写真をアップロードするだけで、AI がデータを Excel 化し、指定フォーマットでの資料作成まで対応するプログラミング不要／OCR 搭載の生成 AI サービスです。PC・スマートフォン・スキャナーに対応し、AI が即座にデータ仕分けを実行します。

詳細につきましてはサービスページ：<https://rpa-technologies.com/ai-puncher> をご覧ください。

■自治体向け製品・サービスについて

▼BizRobo! mini（ガバメントライセンス）



「BizRobo! mini（ガバメントライセンス）」は、LGWAN 接続が必要な環境や業務においても、RPA のスモールスタートができる製品です。セキュリティ面においてシステム構築が難しいネットワーク環境での業務を RPA で自動化することで、大きく生産性をあげていくことができます。

詳細につきましては製品ページ：<https://rpa-technologies.com/bizrobomini-government/> をご覧ください。

▼BizRobo! OCR (ガバメント)

ガバメント
BizRobo! OCR

「BizRobo! OCR (ガバメント)」はインターネット接続不要の、LGWAN 環境で作業が完結する AI-OCR サービスです。専用アプリケーションのインストールも不要なため、利用環境の特定が発生せず、セキュリティ面の安心・安全を保ちます。

詳細につきましては製品ページ：<https://rpa-technologies.com/bizroboocr-government/> をご覧ください。

▼DX 体感パック

座学、ワークショップ、適正診断がセットになった、最短 4 時間で自治体業務の DX を体感できる研修サービスです。

AI-OCR と RPA のツール操作や DX 適性診断を含めたコンテンツで、職員の主体性と効果実感を育みます。オンライン、対面やハイブリッドなど、各自治体の状況に即した受講スタイルを選択することも可能です。

詳細につきましてはサービスページ：<https://rpa-technologies.com/dx-experience-pack-government/> をご覧ください。

【会社概要】

■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・設立：2013 年 7 月
- ・代表者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之
- ・資本金：3,000 万円
- ・事業内容：スマートロボット (RPA、AI) を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業